

## 会 議 録

会議の名称	平成 29 年度第 6 回 大平地域会議
開催日時	平成 29 年 9 月 28 日 (木) 午後 6 時 30 分 開会 午後 7 時 40 分 閉会
開催場所	大平総合支所 新館 2 階 第一・第二会議室
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市消防庁舎整備基本構想（素案）について【意見聴取】</li> <li>・ まちづくり実働組織認定申込について【意見聴取】</li> <li>・ 大平地域保育園整備事業に関する回答（案）について（非公開）</li> <li>・ 各種委員の推薦について <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）栃木市自治基本条例に基づく栃木市市民会議委員の推薦について</li> <li>（2）栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について</li> </ul> </li> </ul>
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
●事務局	1. 開 会
◆会長	2. あいさつ
●担当	3. 栃木市消防庁舎整備基本構想（素案）について【意見聴取】 栃木市消防庁舎整備基本構想（素案）について、資料に基づき説明。
◆委員	火災等の他に、その他の件数が増えているとのことだが、その他とは、具体的にはどのような場合か。 また、ドクターヘリが利用できる敷地はどのくらいあるのか。さらに新しい庁舎にはその敷地が確保されているのか。
●担当課長	その他の出動とは、例えばドクターヘリが着陸する際の周囲の安全を確保する等の場合がある。ヘリが着陸する際には、周りに民家がある場合も多く、周囲の安全が確保されない時点では、ヘリが着陸することはない。ドクターの処置が終わって離陸する際も、引き続き安全確保を行う。 他には、救急車と一緒に消防車も出動する機会が多くなっており、理由としては、

	<p>救急救命士の現場での処置が高度化してきており、その分時間もかかっていることが挙げられる。そして重症と思われる患者に対しては、出来るだけ早く現場から出発できるように、救急隊の補助をする業務を行っている。また、2階等の高所から下ろす活動を補助することもある。これらの、救急隊が活動するための消防隊の出動が増えている。さらに、交通事故等で油が漏洩した場合の処理も行っている。</p> <p>ドクターヘリの着陸地点がどれくらいあるのかという質問については、大平地域で一番利用されている場所は、「さくら球場」になると思う。その他、日立工場のグラウンドや、水代工業団地にある公園、JAのライスセンター等がある。周りに高い建物がある場合や、住宅密集地だと着陸することが難しく、またできれば地面もアスファルトか芝生の方がよい。グラウンドの場合は、発着の際にヘリから巻き上がる砂や石で、周囲の建物や車等を損傷させてしまう恐れがあるので、事前に消防隊がグラウンドに水を撒いている。その分の時間がかかってしまうので、着陸する際は少し離れた場所であっても、アスファルトか芝生の方が効率的である。</p> <p>新庁舎におけるヘリポートの敷地については、現在の敷地で考えると岩舟分署が一番広いが、それでもヘリポートとなると難しい。県内では那須に併設している消防署があるが、1万㎡を超えている。1万㎡を超える敷地を確保するのは難しいことなので、栃木市としては公園等の現在の敷地を利用していくこととなった。</p>
◆会長	他に意見がないようなので、大平地域会議としては「意見なし」ということでよろしいか。
◆全委員	《了承》
●事務局	4. まちづくり実働組織認定申込について【意見聴取】 まちづくり実働組織認定申込について、資料に基づき説明。
◆委員	単位事業計画が3ヵ年分となっているが、同じ事業を継続して行うのか。新しい事業の展開はないのか。
●事務局	3ヵ年計画とはなっているが、これを3年間継続するというではない。29年度についてはこの事業だが、それ以降は話し合いの中で検討していくことになる。
◆委員	<p>今までの勉強会の中では、小規模のものをやっていくことを強調されていたように思うが、この計画を見ると大きなイベントを打ち上げているイメージになり、イベントしかやらないという印象になってしまうが、その点はどうか。やりたいと思う計画を盛り込んだ方がよいのではないかと。</p> <p>計画通りにやるやらないが重要なのではなく、やりたいことを表明し計画に入れるということが重要である。</p>

◆会長	まず人が集まるのかという不安がある中で、スタートしながらやっっていこうという思いがある。周知徹底という意味では、まず大きなイベントでメンバーを集めようというところで始まったものである。
◆委員	「これからいろいろなやりたいことをまとめていこう。」という状況である。この2つのイベントは暫定的なものである。
◆委員	今回は認定に関する意見聴取であるし、先ほどの計画の中身の意見については、意見としてこれから検討していくということによいと思う。
◆会長	では、まちづくり実働組織認定申込については「意見なし」ということによろしいか。
◆全委員	《了承》
●事務局	5. 大平地域保育園整備事業に関する回答（案）について（非公開） 大平地域保育園整備事業に関する回答（案）について、資料に基づき説明。
◆会長	この件に関しては、回答（案）のとおりということによろしいか。
◆全委員	《了承》
●事務局	6. 各種委員等の推薦について （1）栃木市自治基本条例に基づく栃木市市民会議委員の推薦について ・・・・・・・・川島 孝宣 委員 （2）栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について ・・・・・・・・黒田 愛美子 委員
	<p>【連絡事項】</p> <p>○栃木市地域防災計画における地域支援体制の整備について 第7回大平地域会議において、担当課との意見交換を行う。</p> <p>○平成29年度栃木市地域自治交流会について</p> <p>【次回（第7回大平地域会議）開催日程】</p> <p>○平成29年11月24日（金）18時30分～ 大平総合支所 新館2階 第一・第二会議室</p>
	7. 閉 会

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長 赤澤 美智子

副会長 伊藤 宏幸

委 員 尾花 隆男

委 員 川島 孝宣

委 員 川瀬 悦子

委 員 黒田 愛美子

委 員 関根 淑子

委 員 永島 匡

委 員 永田 英人

委 員 長山 安隆

委 員 平井 良三

委 員 藤野 晴彦

委 員 藤原 美恵子

欠席者（委員）

委 員 佐山 晃尉

委 員 滝田 由紀子

委 員 富山 勝也

委 員 藤崎 英治

出席者（事務局）

大平地域まちづくりセンター（大平地域づくり推進課）課長補佐 小林 勝利

同 主査 戸田 良訓

同 主査 田中 佳代

出席者（担当課）

栃木市消防本部 消防総務課長 上岡 健司

同 課長補佐 名淵 恭司

同 係長 青木 健一